

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	58 安全と安心を実感できるまちづくり																
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)				交付対象	清水町											
計画の目標	道路の交通安全施設の整備を推進するとともに、既存の道路施設の機能の向上を行い、交通事故の削減を図る。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業路線の死傷事故件数の10%削減</li> <li>・ 路線内10,000台当りの年間事故発生率の20%削減</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考							
							当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)								
① 事業路線の死傷事故件数							20件	19件	18件								
② 事業路線内の1年間の交通量に対する10,000台当りの事故発生率を算出する。 (路線内10,000台当りの年間事故発生率) = (事業路線内の年間事故件数) / (365日×日当り交通量) × 10,000							5.6	5.1	4.5								
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,119百万円	A	1,119百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%							
<b>事後評価</b>																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
評価委員会を設置し事後評価を実施した 学識経験者1人 町職員6人 合計7人						第1回委員会 令和4年1月18日(火) 第2回委員会 令和4年2月24日(木)											
						公表の方法 町ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
1-A1	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	改築	(一) 3号線 第7工区	現道拡幅 L=0.23km	清水町						319	完了
1-A2	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	改築	(一) 3号線 第7-2工区	現道拡幅 L=0.22km	清水町						300	実施中
1-A3	道路	一般	清水町	直接	—	市町村道	改築	(一) 5号線	現道拡幅 L=0.27km	清水町						500	未実施
小計 (道路事業)											1,119						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道3号線第7工区の現道拡幅を行った結果、歩道と車道が分離されたほか、交差点部分の見通しが良くなり、交通事故発生件数の減少に寄与した。</li> </ul>
--------------------------------	---

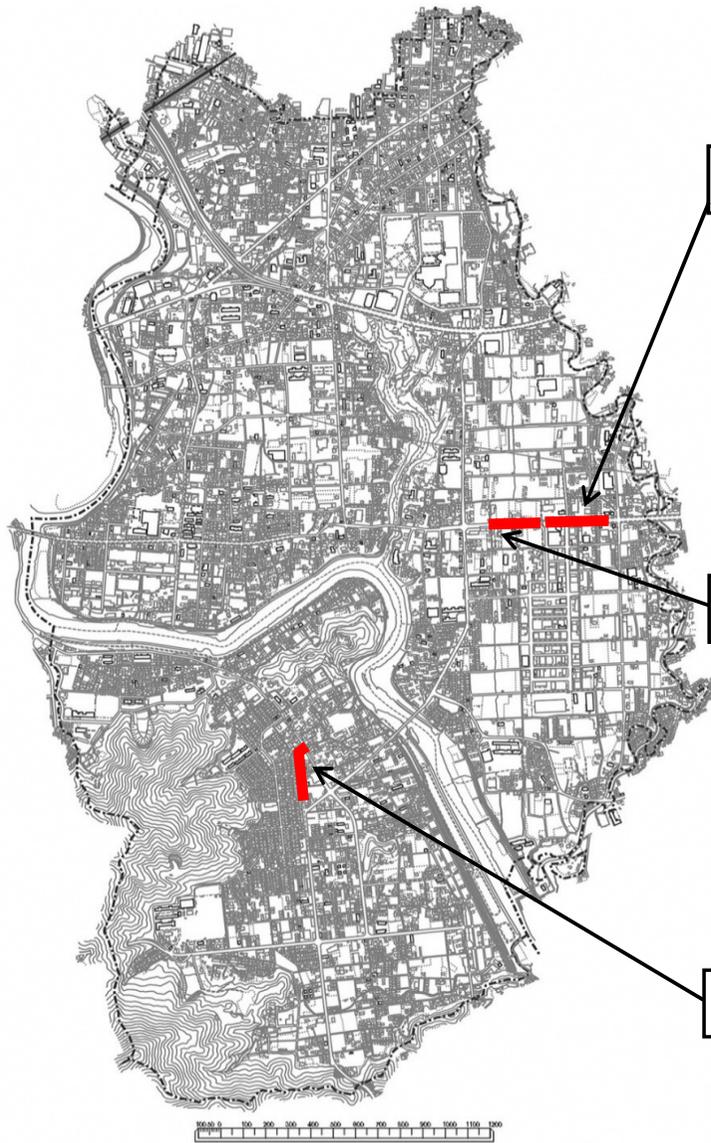
II 定量的指標の達成状況	指標①（事業路線の死傷事故件数の10%削減）	最終目標値	18件	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値は達成した。それ以上の効果があったのは、街頭啓発及びその他の町単独事業等を進めるなど、町を挙げて交通事故削減に努めた結果である。</li> </ul>
		最終実績値	(R2) 9件 55%減		
	指標②（路線内10,000台当りの年間事故発生率の20%削減）	最終目標値	4.5	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	(R2) 2.4 57%減		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道3号線の区画線設置及び現道拡幅により、歩行者通行の快適性、利便性が向上した。</li> <li>災害時の道路空間の確保により、延焼防止及び避難路等の防災機能が向上した。</li> </ul>
--------------------------------------	--

## 3. 特記事項（今後の方針等）

- 町道3号線第7工区の道路整備事業は、交通事故削減に効果が現れていることから、未完了である町道3号線第7-2工区の現道拡幅を継続して進め、交通事故の削減を図る。
- 町の南部においても交通事故削減を図るため、町道5号線の現道拡幅を進める。
- 現在、「安全と安心を実感できるまちづくり（平成31年度～令和5年度）」として、事業を継続中である。

計画の名称	58 安全と安心を実感できるまちづくり	交付対象	清水町
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)		



58-A1  
現道拡幅



事業実施前



事業完了

58-A2  
現道拡幅



事業実施前



事業実施中

58-A3  
現道拡幅



未着手

